



だから、みんなが使いやすい施設

設置運営 一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会
☎ (0857) 50-1071 FAX (0857) 50-1074

■所在地
・鳥取市布勢146-1
鳥取県立布勢総合運動公園内
■アクセス
・鳥取駅から車で約15分

DATA

- 竣工
・2020年
- 規模
・延床面積 694.43 m²
- 総事業費
・約3億円（日本財団の助成10/10）

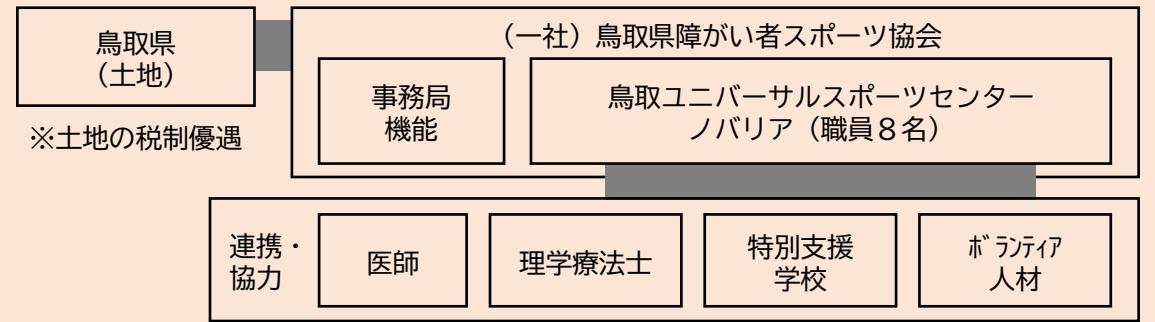
■主な設備



スポーツ広場 バドミントン2面分
トレーニングルーム
マルチルーム 定員30名
相談室

<その他設備>
・交流スペース
・更衣室（男女別）
・シャワー付き更衣室
・トイレ（男女・多目的）
・器具庫
・駐車場

■体制図



構想・計画

○鳥取県における障害者スポーツの拠点へ

■バリアフリーの枠にとらわれず、誰もが使える施設へ

・鳥取県と日本財団とで締結した協同プロジェクトの一つとして「障がい者スポーツの拠点」とすることを目的として設置。



・コンセプトは「障がい者が新たにスポーツを始めることのできる場、障害の有無にかかわらず交流ができる場」

○様々な関係者の巻き込んだ検討委員会の設置

■利用当事者が構想段階から参加

・鳥取県、障がい者スポーツ協会に加え、身体（聴覚・視覚など各種）、知的、精神という3分野の障害者団体担当者が入る検討委員会を開催、当事者側からの意見を集約して方向性を決定。



・所有者であり、運営者でもある鳥取県障がい者スポーツ協会のスタッフも検討委員会に参加。構想段階から運営スタッフが入っていたことで、対応の現実性とスタッフにとっての管理のしやすさも踏まえて議論を重ねた。

設計・建設

○当事者の声より、限られた敷地を最大限に

■限られた敷地に必要な要素を入れ込んだ施設

・事業費と敷地の兼ね合いから、必要となる設備を優先的に設計。
・館内すべて土足利用を可能とし、誰もが気軽に入館できる工夫。

例えば…シャワー室は誰でも利用できる個室更衣室に設置



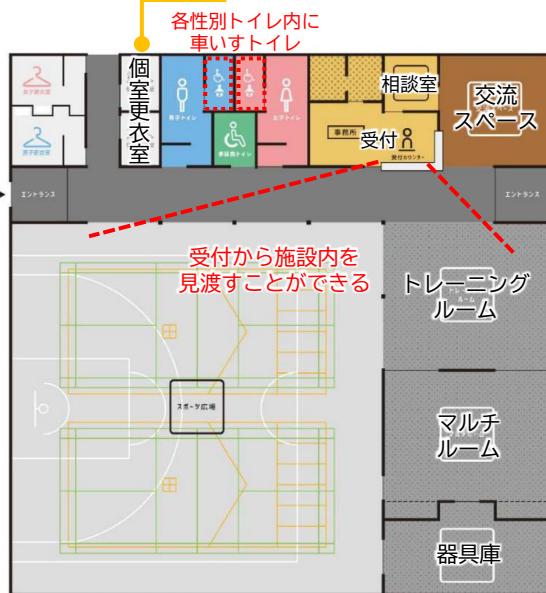
個室更衣室（シャワー）



トイレ（車いすトイレ含）



スポーツ広場（土足可）



各性別トイレ内に車いすトイレ

受付から施設内を見渡すことができる

管理・運営

○誰もが参加できるスポーツ教室の開催

■多種多様なプログラムの企画・実施

・障害のある方もない方もスポーツを通して交流することができる教室を開催し、多くの利用者が参加。

<p>トレーニング・介護予防 姿勢改善教室 きれいな姿勢をつくるためのストレッチや、左右差をなくすためのトレーニングを行います。</p> <p>日程 金曜日（月1回） 時間 18:00-19:00（60分） 定員 10名 講師 ノバリアスタッフ</p>	<p>レクリエーションスポーツ ニュースポーツ教室 モルックやポッチャなど、ニュースポーツを中心にを行います。慣れていてもできるスポーツを提供しますので、体力に自信がない方でも参加できます。</p> <p>日程 月曜日（月2回） 時間 15:30-16:30（60分） 定員 20名 講師 ノバリアスタッフ</p>
<p>レクリエーションスポーツ レクリエーションスポーツ教室①（平日） 参加者の運動機能に合わせた体験や簡単なレクリエーションを行い、体力向上を目指します。</p> <p>日程 水曜日（月2回） 時間 13:30-15:00（90分） 定員 20名 講師 ノバリアスタッフ</p>	<p>レクリエーションスポーツ レクリエーションスポーツ教室②（週末） どなたでもスポーツが楽しめるよう、ルールや用具を工夫して様々な運動を行います。応用スポーツと比較して、体力に自信がない方でも参加できます。</p> <p>日程 土曜日（1回/2ヶ月） 時間 10:00-11:30（90分） 定員 20名 講師 ノバリアスタッフ</p>

○ボランティア（スポーツFunネット）の人材育成

■人材育成プログラムの展開

・障害者がスポーツを始める、続けていくことをサポートする人材、また、一緒にスポーツを楽しむ！応援してくれる人材の育成を実施。
・研修を受けたボランティアは、ノバリアだけではなく、その他の地域のスポーツ施設での支援等、県内に波及。



アリーナ
(スポーツ広場)

- 館内すべて土足利用を可能とし、誰もが気軽に入館できる工夫
- 衝撃を緩和するタラフレックスを採用し、利用者の安全・安心確保
- 受付などからスタッフの目が行き届くよう、極力側壁をなくした設計

発達障害者や知的障害者等をはじめ、暴れたり、激しく動いた際、転倒のリスクが高い。



床にタラフレックス採用、転倒の際のケガのリスクを低減。

利用者が急変、利用に際して困りごと等が生じる。



側壁を極力なくし、受付からスタッフが施設内を見通せるよう工夫。

障害者スポーツのラインを毎回設置することが利用者の負担となる。



ポッチャのラインを常設。その他、バドミントンとバスケットコート（半面）。

トレーニング
ルーム 他

- 障害者スポーツの資格を持ったスタッフによる指導の実現
- 誰もが利用、楽しむことができるコンテンツの充実

障害者等でも利用できる機器がわからない。



理学療法士推薦のトレーニングマシン各種を設置。障害者でも利用できる機器。

利用者の障害の度合いや状況に適したトレーニング方法がわからない。



障がい者スポーツ指導の中級以上の資格を有したスタッフが常駐。

スポーツを行う機会が少ない。



ほぼ毎日、障害者だけではなく、誰もが参加することができるスポーツ教室が開催

施設内全体

点字ブロックは、電動車いすや力が弱い方にとって障壁となるとともに、つまづく利用者もいる。



利用者の障壁とならず、かつ視覚障害者がわかる点字ブロックを採用。

肢体不自由者や高齢者等、靴の脱ぎ履きが大変である。



館内全て土足利用を可能。利用者やスタッフが定期的にモップ掛けを行い、適切に管理。

視覚不自由者は、同じ色だと視認しづらい場合がある。



それぞれのロッカーと戸の色を格子状にすることで視認性の向上。

状況の異なる利用者からの相談にのることが難しい。



医師や理学療法士が定期的にスポーツを行う際の疑問や悩みの個別相談を実施。



・車いす等、目線が低い方のために、低い位置にサインを設置。



・交流スペースの設置による利用者のコミュニケーションの醸成。



・マルチルームを用意し、何かあった際の個室として利用。その他、会議やダンス練習等でも利用可。



・車いす専用、ハートフル駐車場を設置。施設付近には屋根を設け、雨にも濡れず施設内へ。

その他の
取組

スポーツ施設まで行くための交通手段がなく、アクセシビリティが弱い



事業者と連携してUDタクシー（車いすが同乗可）を県で実施。スポーツ教室への参加者の運賃を補助。ドライバー研修等も実施。

<効果>
・利用客UP
・幅広い客層の利用
・高齢者、障害者のリピート乗車
・外出しやすいという声

その他のスポーツ施設においてユニバーサルデザイン化が進んでいない。



○サポーター 463名
○派遣実績 246件
(令和5年1月末現在)

「ノバリア」の機能の中部・西部地区への展開として、ノバリアサテライトセンターを設置し、中部・西部地区の障がい者スポーツ教室の拡充、スポーツ相談事業の展開を図り、中部・西部地区の障がい者スポーツのセンター的機能を担う。

利用者現状

利用
人数

[利用人数]
12,780人

[教室延べ参加人数]
4,651人
2,857人 (うち、障害者数)

[トレーニングルーム延べ参加者数]
3,100人
2,730人 (うち、障害者数)

効果

- ・健全者と障害者が交流する機会が増えている。(障害者が気兼ねなく利用可)
- ・ウッドデザイン賞2020「ソーシャルデザイン部門」を受賞し、市内外に認知
- ・特別支援学校の卒業生のスポーツ機会の創出

利用者
Voice



靴のまま入れたり、車いすのタイヤを拭かずに利用できるのが便利



自分の障害に合わせたプログラムを組んでもらえて助かった



障害者は、無料なので年間途中でも登録しやすい

さまざまなスポーツ教室があるため、自分にとっては新しいスポーツと出会うことができる

交流スペースや芝生がおしゃれで福祉施設という感じがしない
コミュニケーションの場となっていて楽しみ

